

こんにちは ブラインテックです

第58回 東洋英和女学院 中学部高等部 図書室 2010年10月

東京都心でも抜群の交通の利便性を誇る六本木駅から徒歩10分弱の東洋英和女学院 中学部高等部にお伺いしました。このあたりは近隣には教会や図書館はじめ大使館もあり、閑静なエリアという一面も持っています。

東洋英和女学院は125年余りに及ぶ女子教育の伝統があります。幼稚園、小学校、中学校、高校、大学を備え、人と人がふれあう教育システムを大切にという考えのもと、学年を超えた交流がおこなわれるような環境です。歴史ある学院の中学部高等部図書室を司書教諭の佐々木様、富岡様にご案内いただき、お話をうかがいました。

——まず始めに、貴学院のご紹介と特色をお話いただけますか。

日本にまだ女子教育の概念がなかった明治17年、カナダ・メソジスト教会から派遣された婦人宣教師ミス・カートメルにより東洋英和女学校として創設されました。その後、幼稚科、高等科が順に設置され、後に幼稚科と予科を合わせて小学校に指定されました。大正時代に入り附属幼稚園が設立され、昭和25年に短期大学、平成元年に大学が開設されています。

当中学部高等部は6年間の中高一貫教育を実施しており、中学部は全580名、高等部は全549名で中高あわせて30クラスです。私たちは6年間を一つの教育スタンスとして捉え、それぞれの個性の違いを認め合い、自ら考える力を身につけることを期待しています。生徒たちは同時に知性、やさしさ、生きる意味をも学んでいきます。

学院標語として掲げている「敬神・奉仕」はキリスト教信仰に基づく人格教育、個の人格を尊重する人間形成を示しています。毎朝の礼拝や週に1回の聖書科の授業を通じ、神を愛し敬うことを学ぶことは、その後の人生の大きな財産となっていくでしょう。



——先程、女子教育のお話が出ましたが、図書館の入口には料理や手芸本など女子生徒に人気のありそうな本が展示されていますね。礼拝もあるということから、キリスト教関連書籍の蔵書も多いのでしょうか。

創立当時から図書室は設置されていましたが、現在の図書室の開館は、昭和58年7月、当学院の百周年記念事業として竣工した第1期新校舎建設時です。中高生どちらも来やすく、職員室もある2階フロアにあるので、生徒・職員とも利用率が高いです。閲覧席は97席でクラスで利用もできるように仕切られています。当学院は緑が多く図書室内の窓も大きいので室内は明るいのですが、北向きなので日光による本の痛みもありません。蔵書数は約4万8000冊で毎年年間2000冊程度購入しています。蔵書は文学が半数ですが、洋書や絵本、宗教・哲学・心理学の分野の書籍も多いのが特徴ですね。毎朝礼拝があるので、教員によるキリスト教関連書籍の貸出も多いですよ。図書室入り口近くの新着図書コーナーは毎週月曜日に資料を入れ替え展示しています。また生徒が興味ある本も入口近くに展示し、利用を喚起するよう心がけています。

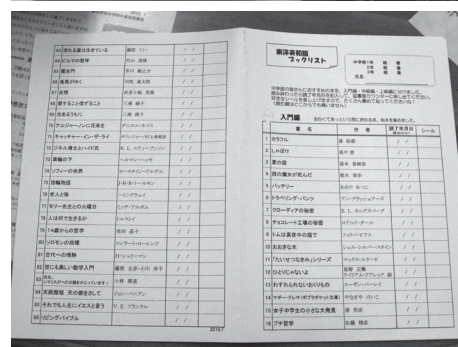


—— 閲覧席は高等部3年時の選択科目「図書」授業の利用だけでなく、受験勉強時にも人気のようですね。いろいろな授業と図書館との連携などは行われているのでしょうか。他にもいろいろと工夫されていることがあれば是非お聞かせください。

探求型授業の一つでもある「図書」の授業は専任の司書教諭による授業で、図書室にある様々な資料を使用しながら興味のあるテーマを研究しています。この授業の他にも、職業体験の準備、修学旅行の下調べ、各教科のレポート学習の場としても利用されていますが、授業で利用するには予め教諭からその研究課題を貰い、図書室側でも準備する書籍を把握するようにしています。また、高等部1、2年の授業では半年で1人の作家を研究するため、作家論や作家紹介本も用意しています。授業で利用した後は生徒たちも来館しやすくなっているようです。

1クラス1名、計30名で構成されている図書委員会は、カウンターでの貸出業務、書架への返却、選書展示を行っています。また、古本市を開催しており、そこでは除籍した書籍をリサイクルし献金するなどしています。人気のある委員会となっています。

中学部向けに「東洋英和版ブックリスト」を図書室が中心となって作成しています。こちらは、基礎学力アップ、本の紹介を兼ねて選書したリストで配布しています。入門・中級・上級編と分かれており、読後はリストに自分の好きなシールを貼って達成感を楽しみむことができるというアイデアが好評の理由かもしれません。



—— 平成6年からは「情報館」をご利用頂き、後に蔵書検索機を5台に増やされたようですが、ご利用されているご感想はいかがでしょう。

4月の中学1年入学時の利用が最も多いですね。検索端末は図書室側が使い方を教えてなくても、皆利用できますね。4年に一度実施している機器入替もこの8月に終わりました。パッケージですと使用しないものも入っているので適宜カスタマイズなどもできるとよいかと思います。また、カウンター業務でメッセージが出た時の音も変更できるように、活用してみたいと思います。情報館導入時より色々サポートして頂いてとても助かっているんですよ。



—— どうもありがとうございます。これからもわからないことがあればご連絡ください。これからも迅速かつ丁寧なサポートを心掛けてまいります。

毎朝礼拝が行われている800名収容の大講堂、その厳かな空間は都会の真ん中にあることを忘れさせてくれました。ステージ両脇に掲げられた「敬神」と「奉仕」の文字。これからも多くの素晴らしい人材を世に輩出し続けますよう、貴学院のますますのご発展をお祈り申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

東洋英和女学院中学部高等部 図書室

〒106-8507 東京都港区六本木5-14-40
 TEL. 03-3583-0696
<http://www.toyoeiwa.ac.jp>
 ※ 外部の方の利用はできません。

